

1 中期学校経営方針

(1) 中期取組目標

中期取組目標
○全職員がチーム力を生かしながら児童理解や児童指導に取り組み、子どもたちが安心して生活でき、学の基礎を高める学校を作ります。 ○あいさつやなかよし活動を通して、集団の中で一人ひとりが輝きながら成長できる学校を作ります。 ○小中一貫ブロックや家庭・地域と連携し、キャリアを意識して形成できる教育活動を進めます。

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
豊かな心	指針1 「道徳の時間」の充実 子どもの実態をもとに教科書教材を活用し、全学級の道徳授業公開を年1回以上実施する。 指針2 体験学習の充実 たてわり活動など異年令活動を充実させる。
担当	道徳部
	指針3 自進力の育成 自ら進んで行動できる力をつけていく。

2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」に関わる課題）

本校は閑静な住宅街の中に位置している。同居、あるいは身近に祖父母が住んでいる家庭が多い。また、社会規範意識も高く、児童への期待も大きい。高齢者や下年齢の子に対して優しい心遣いを感じられる。好奇心旺盛で、学習に取り組む意欲は高く、いろいろな活動に積極的に取り組もうとするが、自分たちの力で話し合いを通じて問題解決していくことには課題がある。自分の力に自信をもてない子や自己有用感（自尊感情）を確立できていない子が、自分の思いを相手に分かりやすく表現することが苦手なために、トラブルになることもある。

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

【項目 道徳教育】

- ・道徳的価値について自ら考えるきっかけとなるよう教科書教材を活用し、道徳教育の要となる道徳の時間の指導を通して、子どもが道徳的諸価値の理解をもとに見方・考え方、感じ方を多様に広げ、自分事として学んでいけるようにします。【視点1】
- ・全学級の道徳授業公開を年1回以上実施する。
- ・懇談会などを通して、道徳の授業について話をして家庭との共通理解を図る。
- ・別業を活用し、学校の教育活動全体を通して行う道徳教育と各学級の道徳の時間との関連を図り、豊かな体験を生かして指導を行う。

【項目：体験活動の充実】

- ・5年生および6年生がリーダーとなりなかよし活動（縦割り集団活動）を行い、高学年のリーダー意識と自己有用感を高めるとともに、各学年が自らの役割を果たして活動することを通して、互いを思いやる気持ちや協力しようとする気持ちを育てる。